1873→2026

たすけあい　かたりあい　わかりあい　しんじあい

令和8年度　8月号

高鷲小学校だより

令和8年7月17日
羽曳野市立高鷲小学校
発行：校長　小島　博之

「夏が来た～」

七夕飾りの短冊の中に「毎日晴れますように」願った高鷲っ子。七夕の夜は天の川は見えませんでしたが、願い通じたのか翌8日近畿地方梅雨明け。高鷲っ子の声は「夏が来た～」になりました。

7月9日の昼過ぎ、3階廊下を北に向かって私の前を歩いていた5年生が「うわ、今明らかに空気変わった！」。私も一緒にそのスポットを往来して確かめました。外国語ルーム前の廊下の天井からの垂れ壁を境に南側が涼しく北側が暑いため「6年生教室エアコンの流れがここで止まるのかな」と仮説。お見事な発見です。

同じ9日の下校時、センダンの木を見上げる4年生。「セミがおるはずやねんけど…」と鳴き声を頼りにその姿をつきとめようと凝視しています。私も一緒に見ましたがどうしてもクマゼミらしき黒い姿は発見できません。「昨日（8日）サクラの木で聞こえて、今日今年初めてセンダンの木から聞こえた」。お見事な観察力です。

7月14日の下校時、1年生が「こんな旗初めてや」と暑さ注意の通称「オレンジ旗」を興味深く見ています。「旗って布やと思ってたけどこれ袋やん」。多分近くで見て材質がわかったのでしょう。さらに「うわ、なんかふくらんでる」と旗をつまんで中の空気を動かしています。この発言に私も新たな発見。日射で熱くなったオレンジ旗を引き上げて職員室で冷やすとペタンコになりました。

朝の放送委員会が「今日は暑いですが、楽しく元気に過ごしましょう」と粋なアナウンス。夏ならではの自然との出会いと発見。高鷲っ子がみんな元気で楽しい夏休みを過ごせますように。

◆「たかわし」を大切に～高鷲っ子の見事な【たかわし】コーチング

7月13・14・15日の昼はいずれも暑さ指数「危険」で外遊びができず。そんな日に体育委員会が冷房の効いた体育館で「走り方教室」を開催してくれました。低学年にはまずは良いフォームの真似から、中学年には足の運び方に気を付けて、高学年には…と、教師顔負けのコーチングを披露。「こうやって手を前にするといいよ」「最後までがんばれ！」・・・相手がどうやったらできるのかよく考えて、一緒にできることを喜ぶ。【かんがえてうごく】【しなやかにのびる】高鷲っ子の姿に嬉しくなりました。

◆8･9月行事予定（10月主なもの）は裏面に掲載しています。ご確認よろしくお願いします。

7月の個人懇談ありがとうございました。お子さまの成長を共通理解しながら、より良い学校や授業づくりを進めてまいります。今年度の「授業アンケート」については、夏休みにご家庭に持ち帰る児童貸与タブレット端末から、保護者のみなさまにご回答いただけるようシステムを構築しています。7月中に tetoru にて保護者のみなさまにご案内しますので、ご覧のうえご協力をお願いいたします。

明日から夏休みですが、5年生は来週7月23･24日には林間学舎です。一泊二日で洞川（奈良県天川村）にて自然体験学習をします。ご準備や体調管理等よろしくお願いいたします。

2学期早々8月30日･31日の14時～16時及び9月1日2･3･4hに体育館にて夏休みの作品展、あわせて9月1日2･3･4hにはフリー参観を実施します。高鷲っ子の力作やひと夏を経て一層たくましくなった様子をぜひご覧ください。9月半ばからは運動会（10月17日（土）開催予定）にむけて練習も始まります。さまざまなご準備をお願いしますが、ご協力のほどお願いいたします。

たくさんの専門家から学ぶ

7月2日の4年生ルームでは日本語教室巡回指導の五十嵐先生、7月3日の6学年ルームでは同じく中島先生による多文化共生理解学習。羽曳野市にはどんな国にルーツのある子がいるか、世界一難しい日本のゴミ出しルールをどう伝えるかなど、アクティビティが満載。見えない文化や自分の生活への気づきの多い授業でした。

7月6日は同じ部屋で今度は元養護教諭の井上鈴佳先生によるLGBTQ 理解学習。2年生も含め発達段階に合わせたわかりやすく性の多様性を考えるお話と「アライ＝味方」の大切なつながり方を教えていただきます。温かいお人柄にたくさんの質問が出ました。

7月13日と15日は1年生教室で市ICT支援のみのりの里によるはじめてのタブレット教室。うまくいかなくてもさっと直してくれる魔法の手が小さな手をアシスト。タッチパネルの動きに歓声が上がります。

7月16日の3～6年生で市歯科医師会衛生士さんによる歯の磨き方教室。3年生教室では、なぜ虫歯になるのか、どう歯を磨くのか、テンポよい話を聞きながら、鏡をのぞき込む高鷲っ子が続出です。

外部講師の専門的なお話はいつ聞いても気づきがいっぱいです。高鷲っ子の豊かな学びをたくさん支えていただき、感謝します。

◆「たかわし」を大切に～「みんな大切な高鷲っ子　みんなで見て　みんなで育てる」

毎年夏になると地域の方から立派な七夕の笹をいただき、校務員さんやボランティアルームのみなさまが飾りの準備をしていただいています。メインの玄関前や各教室前には「みんなが楽しくすごせますように」「家族が幸せでいますように」など高鷲っ子のやさしさいっぱいな一方、「お金が増えますように」「映画に出れますように」など夢と希望に満ち溢れていました。枝払いした後「もったいない笹」を花瓶に入れて校長室前に置いたら、誰が第1号なのか日々増えていく短冊には「学校の先生になりたいです」「自然が多い羽曳野市になりますように」など、思わず嬉しくなるお願いに感心。

みんなでつくるあたらしい高鷲小の名物。高鷲っ子の願いが叶いますように。